学校番号	3001

令和２年度　バイオサイエンス科

教科	農業	科目	農業と環境（実習）	単位数	３のうちの２単位	年次	１年次
使用教科書	「農業と環境」　（農文協）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１）農業に興味をもって、自ら野菜や作物を栽培し、加工まで出来るようにする。
２）農業によって人間生活が支えられていること，農業と環境が密接に関係していること，農業の今後の展望や課題などが取り上げられており，さまざまな観点から農業を捉えられるようにする。

2　学習の到達目標

１）農業や環境に関する興味・関心を喚起させ，生徒の科学的思考と問題解決能力を育み，農業の各分野で活用できるよう自分なりの考えをもち、堂々と発表できる。
２）農業生物の育成や環境調査などの体験的・探究的な学習を通して，農業や環境に関する基礎的・基本的な知識と技術が習得できる。疑問点を自分で工夫し、調べることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	前向きに栽培･飼育管理を実行し､定期的･継続的に調査･観察･記録する意欲と態度を身につける。	基礎的な知識・技術をもとに適切な処置を行い、科学的・合理的な管理を行う判断力をつける。	授業のポイントを掴みつつ、板書を写し、メモ書きする習慣をつける。	それぞれの項目の暗記ではなく、ポイントを掴み、理解するまで取り組ませる。
評価方法	①　技術技能 ②　積極性 ③　実習への集中力	①　問に対する答えの内容 ②　自分の担当する圃場の管理状況	①実技試験 ②生産物に対する評価	①定期考査において確認
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

Ⅰ	栽培と飼育のプロジェクト	1 果菜類 (1)各作物の来歴と特性 (2)課題設定と栽培計画 (3)栽培の実際	○	○	○	○	a:堂々と内容受けいれる b:大事なところでの発問に対して受け答えできる c:プリント・板書・説明をバランスよく「見て、書いて、聴く」 d:結び付けて理解する	・授業準備 ・姿勢 ・集中力 ・発問に対する受け答え
Ⅱ	栽培と飼育のプロジェクト	2 水稲・葉根菜類 (1)各作物の来歴と特性 (2)課題設定と栽培計画 (3)栽培の実際	○	○	○	○	a:関心の少ない項目であるが、積極的に取り組む b:聴く一辺倒にならないよう、発問を多くして、受け答えの準備をさせる c:板書・説明をバランスよく「見て、書いて、聴く」 d:今後必要となるシステムを理解する	・授業準備 ・姿勢 ・集中力 ・発問に対する受け答え
Ⅲ	栽培と飼育のプロジェクト	3 麦類・豆類 (1)各作物の来歴と特性 (2)課題設定と栽培計画 (3)栽培の実際	○	○	○	○	a:現在取り巻く環境を知ることを、重要課題として取り組む b:身近な環境問題に関する問いに対して積極的に受け答えする c:板書・説明をバランスよく「見て、書いて、聴く」 d:環境問題に、これまでより関心を多くもたせる	・授業準備 ・姿勢 ・集中力 ・発問に対する受け答え

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。